

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2025年 1月 24日
研究終了日	2026年 7月 19日 まで
研究の名称	肝胆膵領域悪性腫瘍術後のエノキサパリン投与による止血凝固系検査結果への影響に関する研究
研究対象	「肝胆膵領域悪性腫瘍に対する術後静脈血栓塞栓症予防に対するエノキサパリン投与の第Ⅱ相ランダム化比較試験」に登録された症例のうち、手術前および手術後から術後11日目までの止血凝固系検査結果が入手可能な症例
対象材料	診療記録
対象期間	2015年4月1日 ～ 2021年5月31日まで
研究の目的意義	腹部の癌の手術後は静脈血栓塞栓症 (venous thromboembolism; VTE)が発生しやすいことが知られていますが、本邦では具体的なエビデンスに乏しく、対象症例や投与方法が確立されていません。エノキサパリンは低分子量ヘパリンであり、VTEの予防効果が確認されている薬剤であります。肝胆膵悪性腫瘍手術領域における安全性と有効性が十分に検討されていません。そこで、肝胆膵領域悪性腫瘍手術後におけるエノキサパリン投与の安全性および有効性を検証することを目的とします。
方法	「肝胆膵領域悪性腫瘍に対する術後静脈血栓塞栓症予防に対するエノキサパリン投与の第Ⅱ相ランダム化比較試験」における介入群(エノキサパリン投与群)、コントロール群の2群に対象患者を分け、両群間における止血凝固系検査データの推移を比較します。
個人情報の取り扱い	個人情報は院内で取り扱い、匿名化等により院外には出しません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 消化器外科 清水 潤三 TEL06-6843-0101